

インストール前にお読みください

WebFOCUS Version 8.2.06.33 インストール手順

このマニュアルでは、WebFOCUS のインストール・構成のために必要な作業手順を記載しています。
必ずご一読の上、以下手順に従ってインストールを行ってください。

□ インストールモジュールについて

Windows 版のインストールメディア（DVD）と、FTP サイト等で WebFOCUS のモジュールをダウンロードした場合、インストールモジュールは「IBI¥64bit」ディレクトリにすべて含まれております。

インストールモジュールのディレクトリ構成は次の通りです。

```
├─IBI
│   └─64bit
│       ├──Client
│       ├──Server
│       └─patch_8206s
└─Manual
├─LM
│   ├──Module
│   │   └─Doc
│   ├──Patch
│   └─SC46SP1
└─Readme
```

フォルダ	内容
IBI¥64bit¥Server	WebFOCUS Reporting Server インストールモジュール
IBI¥64bit¥Server¥patch_8206s	Resource Analyzer 日本語パッチ
IBI¥64bit¥Client	WebFOCUS Client インストールモジュール
IBI¥Manual	WebFOCUS インストールガイド、他マニュアル
LM¥Module	ログイン認証モジュールインストールモジュール (部門サーバのみ使用します)
LM¥Module¥doc	ログイン認証モジュールマニュアル
LM¥Patch	ログイン認証モジュールパッチ
LM¥SC46SP1	ログイン認証モジュールサービスパック
Readme	インストール手順、インストール時の追加手順等

※ 上記は Windows 版の場合のディレクトリ構成例です。Linux 版は「Java」ディレクトリが含まれます。(ディレクトリ構成は若干異なります。)

□ Linux 版のインストールメディア（DVD）について

Linux 版のインストールメディア（DVD）をご利用の場合、DVD メディアは 2 枚構成となっており、Reporting Server のインストールモジュールは Kernel バージョンによってそれぞれ別のメディアに格納されます。Linux 版インストールメディアのディレクトリ構成は次の通りです。インストールする Linux 環境の Kernel バージョンにより、使用するメディアを入れ替えてご利用ください。

Kernel-2.6.32 の場合

DISK1 を使用します。

DVD のディレクトリ構成は次の通りです。

```
├── IBI
│   ├── 64bit
│   │   ├── Client
│   │   └── Server
│   │       ├── Kernel-2.6.32
│   │       └── patch_8206s
│   └── Manual
├── JAVA
└── Readme
```

Kernel-3.10.0 の場合

DISK2 を使用します。

DVD のディレクトリ構成は次の通りです。

```
└── IBI
    └── 64bit
        └── Server
            ├── Kernel-3.10.0
            └── patch_8206s
```

□ マニュアルについて

WebFOCUS および WebFOCUS App Studio のインストールガイドは、DVD の「IBI¥Manual」フォルダに格納されています。

リリースノートをはじめ、最新マニュアルについては、AWSC（アシストサポートサイト）からダウンロードしていただくことができます。（PDF ファイル形式）

以下の URL より AWSC にログインし、FAQ から必要なマニュアルをダウンロードしてください。

FAQ のリンク一覧から” WebFOCUS/FOCUS : ”を選択することでマニュアルを検索することができます。

URL : <http://support.ashisuto.co.jp/>

※ マニュアルの内容は、改良のため予告無く変更することがあります。

□ WebFOCUS インストール手順

1. WebFOCUS インストール

『WebFOCUS インストールガイド Version8.2.06』に従って WebFOCUS のインストールを行ってください。
インストールモジュールは、DVD の「IBI¥64bit」ディレクトリに格納され、WebFOCUS Reporting Server は「Server」、WebFOCUS Client は「Client」ディレクトリに格納されています。

2. 通貨記号と日付の日本語表示設定

通貨記号を円で表示、日付を日本語表示にするために「Readme」フォルダの『WebFOCUS インストール時の追加手順 Version8.2.06』に従って設定を追加してください。

3. Unicode 構成 (Unicode 環境で使用する場合のみ)

WebFOCUS(ReportCaster 含む)を Unicode 環境で使用する場合は、「Readme」フォルダの『WebFOCUS インストール時の追加手順 Version8.2.06』に従って Unicode 構成を行ってください。

4. Resource Analyzer 日本語パッチの適用 (Resource Analyzer を使用する場合のみ)

Resource Analyzer をご利用の場合は、「Readme」フォルダの『WebFOCUS インストール時の追加手順 Version8.2.06』に従って日本語パッチの適用を行ってください。

5. 部門サーバの構成 (部門サーバをインストールする場合のみ)

DVD の Readme フォルダに格納されている『部門サーバ・ログイン認証モジュールのインストールについて』、
『部門サーバ・ログイン認証モジュールのサービスパック適用について』に従って、構成を行ってください。

『WebFOCUS リリースノート Version8.2.06』には利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは AWSC (アシストサポートサイト) からダウンロードしていただくことができます。

また、次のページのメンテナンスリリース 8.2.06.33 リリースノートもご一読ください。

メンテナンスリリース 8.2.06.33 リリースノート

セキュリティ脆弱性 CVE-2021-35493 への対応

メンテナンスリリース 8.2.06.33 では、CVE-2021-35493 により報告されたクロスサイトスクリプティングの脆弱性に対応しました。

BV_NAMESPACE=ON 設定の廃止

バージョン 8.2.01M の新機能として紹介されたビジネスビュープラス（BV+）機能では、シノニム中に論理フォルダ（ビジネスビューフォルダ）を作成しフィールドを管理するために BV_NAMESPACE=ON モードが使用されていましたが、バージョン 8.2.06 でこの設定は廃止されました。バージョン 8.2.06 では、データアシストでシノニムを開くとデフォルトで BV_NAMESPACE=OFF モードが設定され、BV_NAMESPACE=ON モードに変更しなくてもビジネスビューとしての論理フォルダの作成とディメンションビューとしての階層の設定を行うことが可能です。

バージョン 8.2.06 では、上位互換性を維持するため、以前のバージョンの BV_NAMESPACE=ON モードで作成されたシノニムを継続して利用することができますが、JOIN を使用した場合に複数の既知の問題が報告されているため、BV_NAMESPACE=ON モードの利用は推奨しておりません。

<BV_NAMESPACE=ON モードで発生する既知の問題>

非互換・注意点リスト 管理番号	内容
763254	JOIN のホストファイル(親側)に BV_NAMESPACE=ON を指定したビジネスビュー(BV)を使用し、JOIN キーとして一時項目を設定すると（FOC370）エラーが発生します。
764187	Excel ファイルのデータを JOIN し、BV シノニムで「BV_NAMESPACE」が有効になっている状態で、DEFINE 項目を作成しレポートに指定すると FOC003 エラーが発生します。

ブラウザ要件 : Microsoft Edge サポートについて

WebFOCUS の対応ブラウザとして、Microsoft Edge (Chromium)が追加されました。

App Studio の出力ビューアとして Edge を使用することはサポートされません。

以下はメンテナンスリリース 8.2.06.33 でメーカーが動作確認を行ったブラウザバージョンの一覧です。

- Google Chrome Version 90
- Firefox Version 88
- Microsoft Edge (Chromium) Version 89 ※App Studio を除く
- Microsoft Edge Version 44 ※App Studio を除く

メディアに同梱される Java バージョンについて

- Linux 版のメンテナンスリリース 8.2.06.33 では OpenJDK Runtime Environment (AdoptOpenJDK) build1.8.0_242-b08 (8u242) が同梱されています。Linux 版は、必要に応じて事前に構成の上ご使用ください。Windows 版のメンテナンスリリース 8.2.06.33 では Java (TM) SE Runtime Environment build1.8.0_241-b26 (8u241) がインストールにより自動構成されます。

メディアに同梱される Tomcat バージョンについて

- メンテナンスリリース 8.2.06.33 では Apache Tomcat 8.5.51 が同梱されています。新規導入時は、インストールにより自動構成されます。更新インストールにおいては Tomcat のバージョンアップはされませんので、必要に応じて当該バージョンの Tomcat をインストール、構成の上ご使用ください。

メンテナンスリリース 8.2.06.33 で新たに確認された問題

メンテナンスリリース 8.2.06.33 で確認された新規の問題は以下の通りです。メンテナンスリリースの適用にあたっては影響度を考慮してから適用していただくようお願いします。各問題の詳細、およびその他の問題につきましては、AWSC（アシストサポートサイト）からダウンロード可能な「不具合・非互換一覧」もあわせてご参照ください。

管理番号	コンポーネント	内容	修正バージョン
841095	InfoAssist	InfoAssist でサンプルデータ表示としている場合にデータベーステーブル(*.sql)形式で一時ファイル保存し実行すると、エラーになります。	
841660	Web コンソール	Web コンソール画面にて、データアダプタの追加時に「リモートサーバ」を選択するとアダプタの一覧が表示されているダイアログが自動で閉じられません。	8.2.07.28
840868	App Studio	App Studio の HTML キャンバスに、マップグラフ (Leaflet)を「既存のグラフのインポート」で挿入して実行した場合、マップグラフが表示されません。	
840296	Reporting Server	HOLD FORMAT SAME_DB を実行すると、エージェントクラッシュが発生します。	

839247	Resource Analyzer	Resource Analyzer でログのアーカイブジョブをバ ルクロードで実行すると、ログのステータスが「エージェ ントクラッシュ」となり、アーカイブができません。この問題 を回避するためには、リポジトリロードタイプの設定でテ ーブルロードを使用してください。	
837459	InfoAssist	InfoAssist のドキュメントデザインビューで、複数の HOLD ファイル、複数のページを作成した状態から、 HOLD が 1 つになるまで削除した場合、「Invalid session used in call」のエラーが発生します。	
836465	InfoAssist	InfoAssist でテーブルを JOIN し、HOLD ファイルを 作成する際、親テーブルと同名の HOLD ファイルを作 成しようするとハングアップします。	
816200	InfoAssist	ビジュアライゼーションで作成したコンテンツをモバイルビ ューアで開こうとするとモバイルビューアの画面の左のメ ニューを開くことができません。	
843878	App Studio	AppStudio のドキュメントキャンバスに設置したドロッ プダウンリストに[ターゲットレポート]を設定すると、ドロ ップダウンリストが異常表示されます。	8.2.07.28
694146	Resource Analyzer	Resource Analyzer の保守ジョブをスケジュール実 行すると、削除されません。スケジュールからではなく、 通常の保守ジョブであれば削除されます。	8.2.07.28
590263	App Studio	App Studio の Active Report のオプションでメニ ューオプショングループのメニュー色を 指定するアイコンメ ッセージが正しく表示されません。	

メンテナンスリリース 8.2.06.33 で修正された問題

メンテナンスリリース 8.2.06.33 では、以下の問題と過去のメンテナンスリリースに含まれる全ての問題が修正されます。

管理番号	コンポーネント	内容
817929	In-Document Analytics	Analytic Document レポートで、条件付きスタイルとして ACROSS 項目に背景色を指定しても、レポートを出力時、背景色が設定されません。
818158	App Studio	ダイアログマネージャの IF 条件で LIKE 比較値の判定が正しくない場合があります。
820657	InfoAssist	特定の手順で複数の HOLD ファイルを作成し、レポートを実行すると、HOLD ファイルが意図しない場所に作成されます。
821939	InfoAssist	InfoAssist で、ユーザ関数を記述したプロシジャが一覧画面に表示されません。
814161	In-Document Analytics	明細レポートの列合計と、Analytic Document で作成した棒グラフの合計が異なります。
813046	In-Document Analytics	行固定（HFREEZE=ON）を含む Analytic Document（SET ARVERSION=1）を HTML ファイルのフレームに出力する場合、条件により 0 件検索を 2 回以上連続で実行すると、run.xml ファイルがダウンロードされます。
795921	App Studio	「パラメータの保存」機能で値を変更後、「値の変更」イベントが動作しない場合があります。
793600	InfoAssist	グラフのドリルダウンのパラメータを「タイプ: 定数、値 : &変数」に設定した場合、グラフを保存して一旦閉じ、再度パラメータの編集画面を開きなおすと設定した値と異なる内容が表示されます。
791848	In-Document Analytics	Analytic Document（SET ARVERSION=1）で、レポートの 10 列目以降を対象にピボットすると、値が undefined で total が NaN となってしまいます。

791676	In-Document Analytics	Analytic Document（SET ARVERSION=1）で、レポートの 10 列目以降を集約した場合にソートができなくなります。
768762	Resource Analyzer	Resource Analyzer の「ストアドプロシジャのモニタを終了」でプロシジャを選択できません。
749547	App Studio	App Studio のレポートキャンバスで出力先を選択するダイアログの動作が不安定となります。

以上